

# ジェネリック医薬品を誤解していませんか？

徐々にジェネリックが浸透してきていますが、漠然とした不安からか、頑なに新薬を希望される人もいます。——ですが、それは誤解かもしれませんよ。



「安かろう悪かろう」どころか、

いいえ、安くて同じなのがジェネリックです。



新薬がジェネリックより高いのは、研究や開発に多くの時間や費用がかかっているからです。そのため新薬には特許期間があり、20〜25年間はひとつの製薬会社から販売され、値段も高く設定されます。

一方、ジェネリックは新薬の特許期間が切れた後に、他の製薬会社から同じ主成分、同じ効能を持つられるもの（\*）です。研究や開発にかかる時間や費用が抑えられるため、値段が安くできるのです。

\*添加剤が異なるケースもありますが、使用前例のある安全性が確認された添加剤のみが使用されています。仮に、使用前例のない添加剤を使用する場合は、改めて審査を受けなければなりません。なお、オーストラリアジェネリック（AG）という、まったく新薬と同じ成分のジェネリックもあります。



それでもまだ不安なだけで...

「お試してみませんか？」



それでもジェネリックに変えるのが不安であれば、「お試し調剤」という面白い方で、処方された薬のうち1週間分だけなど、短期間ジェネリックを試すこともできます。お試し期間の後、残りの薬もジェネリックに変更するかを薬剤師と相談して決められます。



ジェネリックはこんなに安い!!

自己負担3割の場合

●感冒（かぜ）で処方される代表的な薬で比較（5日間）

- ムコソルバン錠 15mg（去痰剤／1日3回服用）
- +クラリスロマイシン錠 200mg（抗生物質／1日2回服用）
- +ロキソニン錠 60mg（解熱鎮痛薬／1日2回服用）

新薬 398円 > ジェネリック 159円 → 239円安い！

●高血圧で処方される代表的な薬で比較（年間）

- エナラプリルマレイン酸塩錠 10mg（血圧降下剤／1日1回服用）

新薬 14,750円 > ジェネリック 2,727円 → 12,023円安い！

※薬剤は一般名で記載。 ※薬価のみを単純計算して比較しています。また、ジェネリック医薬品は最も安価なもので計算しています（平成27年7月現在）。

★詳しくは当組合ホームページをご覧ください。